



T.Miki

サマー2000シリーズ

THE NIIGATA KINEN

第60回 農林水産省賞典 新潟記念 (GIII)

1着 2着 3着 4着 5着
 本賞 43,000,000円 17,000,000円 11,000,000円 6,500,000円 4,300,000円
 付加賞 427,000円 122,000円 61,000円



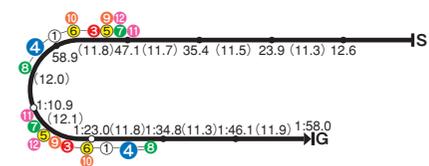
レース映像は
 コチラでご覧
 いただけます。

3歳以上、2023.9.2以降2024.8.25まで1回以上出走馬、除未出走馬および未勝利馬
 負担重量 ハンデキャップ

2024.9.1 新潟 晴・良 芝2000m (国産) (特招)

順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング	
1	④	シンリョクカ	牝4	54	木幡初也	1:58.0	2-2	34.4	458(±0)	26.0⑧	竹内正洋(美浦)	104	
2	⑦	セレシオン	牡5	56	荻野 極	1:59.0	9-10	32.8	472(-2)	4.6③	友道康夫(栗東)	107	
3	⑨	キングズパレス	牡5	57	松岡正海	1:59.0	7-7	33.4	494(-2)	2.8①	戸田博文(美浦)	108	
4	①	ゴールドプリンセス	牝4	53	菊沢一樹	1:59.0	3-3	34.3	482(±0)	23.9⑦	寺島 良(栗東)	99	
5	⑫	レッドラディエンス	牡5	58.5	戸崎圭太	1:59.0	9-8	33.4	498(+10)	4.2②	友道康夫(栗東)		
6	⑤	ファユエン	牝6	53	北村宏司	1:59.0	7-8	33.3	470(±0)	41.7⑨	勢司和浩(美浦)		
7	⑩	エーデルブルーメ	牝5	54	川田将雅	1:59.0	11-11	33.1	490(+4)	5.8④	福永祐一(栗東)		
8	⑩	バラジ	騾5	56	菅原明良	1:59.0	4-4	34.3	492(±0)	49.4⑩	鹿戸雄一(美浦)		
9	③	ジュンアラニヨシ	牡4	55	池添謙一	1:59.0	6-6	34.4	498(+16)	19.8⑥	松下武士(栗東)		
10	⑥	アリスヴェリテ	牝4	53	柴田裕一郎	1:59.0	3	1-1	36.4	482(+14)	10.6⑤	中竹和也(栗東)	
11	⑧	アスクワイルドモア	牡5	56	小沢大仁	1:59.0	4-4	35.7	488(+6)	162.0⑪	藤原英昭(栗東)		
除外	②	ライトバック	牝3	52	坂井瑠星	1:59.0			482(+6)		茶木太樹(栗東)		

単勝④2,600円(8[△]%) 複勝④480円(8[△]%) ⑦170円(3[△]%) ⑨130円(1[△]%) 枠連④-⑥4,470円(14[△]%)
 馬連④-⑦5,450円(16[△]%) ワイド④-⑦1,440円(18[△]%) ④-⑨1,100円(14[△]%) ⑦-⑨240円(2[△]%)
 馬単④-⑦13,950円(41[△]%) 3連複④-⑦-⑨4,530円(15[△]%) 3連単④-⑦-⑨44,690円(148[△]%)
 5重勝⑩⑪④⑧④7,783.610円(44票) 対象競走：中京10R/新潟10R/札幌11R/中京11R/新潟11R



通過タイム：600m 800m 1000m 上り：800m 600m
 35.4 - 47.1 - 58.9 47.1 - 35.0

アラカルト

- ・木幡初也騎手はJRA重賞初勝利
- ・竹内正洋調教師はJRA重賞初勝利
- ・サトノダイヤモンド産駒はJRA重賞通算3勝目
- ・4歳馬の勝利は20年ブラヴァスに続く通算25回目
- ・牝馬の勝利は13年コスモネモシ以来11年ぶり、通算18回目
- ・ワイド240円は同式別における本競走の最低払戻金額
- ・ライトバックは馬場入場後に放馬。疾病(四肢挫創)を発症したため競走除外

シンリョクカ *Shinryokuka*

牝 鹿毛 2020.1.24生
北海道日高町 下河辺牧場生産
馬主・由井健太郎氏 美浦・竹内正洋厩舎
馬名意味・心力歌

		カーラパワー-GB系 F1-u
サトノダイヤモンド 鹿毛 2013	ディープインパクト 鹿毛 2002	サンデーサイレンスUSA ウインドインハーヘアIRE
	マルベンサARG 鹿毛 2006	Orpen Marsella
レイカーラ 鹿毛 2009	キングカメハメハ 鹿毛 2001	Kingmambo マンファスIRE
	カーラパワー-GB 鹿毛 1998	Caerleon Jabali

5代までのインブリード：Halo S4×S5

INTERVIEW

下河辺行雄代表(下河辺牧場)

素直で大人しい仔でした

後ろから馬が迫っていたのでゴール前は何とか凌いでくれ、という思いでした。前走から立て直してくださった竹内調教師、この馬を理解して勝利に導いてくれた木幡初也騎手に感謝します。牧場時代は素直で大人しい仔でした。この一族は小柄な馬が多いのですが、シンリョクカは柔らかな馬体で、2歳になるまでそのフォームを維持したまま健康に育ってくれました。



A. Takeda

1戦1勝の身で挑んだ阪神ジュベナイルフィリーズでリバティアイランドの2着に追い込んだ本馬だが、昨年はオークスの5着が最高着順ともうひとつ精彩を欠き、前走の福島牝馬Sでは落馬して競走を中止するアクシデントにも見舞われた。それでも態勢を立て直されて臨んだこの日は、2歳時に示した素質の高さを改めてアピール。デビュー11年目の木幡騎手、その師匠で開業10年目の竹内正洋調教師ともども、嬉しい重賞初制覇を果たした。

父サトノダイヤモンド

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央、仏18戦8勝(菊花賞^{G1}、有馬記念^{G1}、阪神大賞典^{GII}、京都大賞典^{GII})、最優秀3歳牡馬、19年から供用〔代表産駒〕サトノグランツ(京都新聞杯^{GII}、神戸新聞杯^{GII})、シンリョクカ(本馬)、スズハローム(CBC賞^{GII}2着、京王杯スプリングC^{GII}3着)、ダイヤモンドハンズ(札幌2歳S^{GIII}3着)

母レイカーラ

北海道日高町 下河辺牧場生産 中央17戦5勝(ターコイズS^{Op}、弥彦特別、鎌ヶ谷特別)、23年死亡

フィオレドローロ(16 牝父オルフェヴル)中央5戦2勝

インターミッション(17 牝父ディープインパクト)中央16戦3勝(アネモネ

| S・L、秋風S、信越S・L2着、福島テレビオープン^{Op}2着)

ウォーズマンパワー(18 牝父ハーツクライ)不出走

アールフォルス(19 牝父ハーツクライ)中央10戦0勝

シンリョクカ 本馬(20 牝父サトノダイヤモンド)中央10戦2勝(新潟記念^{GIII}、

阪神ジュベナイルフィリーズ^{G1}2着、中山牝馬S^{GIII}3着) 獲得総賞金101,388,000円

サトノオラシオン(21 牝父サトノダイヤモンド)中央8戦1勝 @

レイユール(22 牝父キズナ)1戦1勝 @

(23 牝父コントロール)

(24 前年種付せず)

祖母カーラパワー-GB

仏2勝。02年輸入、15年死亡

ターキー(03 牝父Sinndar)持込 中央3勝(グッドラックH)、スライリー(菜の花賞、フローラS^{GII}2着)の祖母

ワキノパワー(04 騾父タニノギムレット)中央3勝(春日特別、地方0勝

レッズフィールド(05 牝父アグネスタキオン)中央1勝

スティルゴールド(07 牝父フジキセキ)中央4勝

ダノンシャーク(08 牝父ディープインパクト)中央7勝(マイルチャンピオン

シップ^{G1}、富士S^{GIII}、京都金杯^{GIII}、逆瀬川S、甲東特別、つばき賞、マ

イラズC^{GII}2着2回、関屋記念^{GIII}2着、京成杯オータムH^{GIII}2着、エ

ブソムC^{GIII}2着、京都金杯^{GIII}2着、安田記念^{G1}3着)、種牡馬

レイカーラ(09 前出)

ポップキャット(10 牝父ダイワメジャー)中央2勝、障害1勝

トリニティブレイス(11 牝父マンハッタンカフェ)中央0勝、地方3勝

ハナ差で掴んだデビュー戦以来の勝利

桜花賞、オークスの3着馬で1番人気
の支持を集めていたライトバックが
本馬場入場後に放馬。サマー2000
シリーズの最終戦・新潟記念は競走除
外となった3歳牝馬に変わり、七夕賞
2、1着のキングズパレス、レッドラ
ディエンスが1、2番人気に支持され
た。シリーズ優勝の可能性を残す2頭
には重賞初挑戦の5歳馬セレスイオンが
続いたものの、勝利の女神が微笑んだ
のは8番人気の伏兵シンリョクカ。G
I2着の実績も持つ4歳牝馬が波乱劇
の主役を演じ、例年同様に暑かった夏
の新潟開催を締めくくった。

この日も先手を奪取。互角の勢いで飛
び出したシンリョクカの木幡初也騎手
は離れた2番手に腰を落ち着ける。キ
ングズパレスは中団につけ、レッドラ
ディエンスは背後の9番手を追走。ス
タートで立ち遅れ、ダッシュも鈍かつ
たセレスイオンは縦に長く延びた隊列の
最後方で未脚勝負に構えた。

3コーナー手前から次第にリードを
広げ、大逃げの形に持ち込んだアリス
ヴェリテは柔な手応えを保って直線へ。
とはいえ木幡騎手は先を焦らずにジワ
ジワと間合いを詰め、残り400m以地
点を過ぎてから追い出しにかかる。鞍
上の仕掛けに鋭く反応、先頭へ抜け出
したシンリョクカを追って、外からキ
ングズパレスが未脚を伸ばし、ゴール
前ではセレスイオンも急襲。勝負の行方
はもつれたが、ハナ差で決着した接戦
の凱歌は最後までしっかり伸びたシン
リョクカにあがった。